

平成 29 年度南予地方局予算の実施状況(H30.3.31 現在)

1 予算事項名 大洲喜多地区農地復活プロジェクト推進事業費

2 事業期間 平成 27 年度～平成 29 年度

3 所 管 産業経済部八幡浜支局地域農業室

4 事業概要

大洲・喜多地区の国営農地(440ha、65 団地)は、基幹作物の葉たばこ廃作等により、約3割の農地が未利用となっているため、モデル的な地域を重点地域として選定し、関係機関・団体による総合的な支援活動に取り組むことにより、国営農地の復活を図った。

	平成 29 年度
予算額	896 千円

3年間で重点地域の荒廃農地を半減！



5 29 年度の事業実施状況

(1) 支援チーム会の開催

関係市町、JA、地域農業室等の関係機関・団体に組織する「農地復活プロジェクトチーム」(喜多広域営農団地推進協議会)会を3回開催し、農地復活プロジェクトの進捗状況を報告し、地域の実情にあった耕作放棄地再生方策を検討した(5/23、8/23、2/16)。また、重点地区の農地利用状況調査し実態を調査した。

(2) 重点地域集落座談会の開催

重点地域として選定した2地区(松久保・ハ多浪等)を中心に4回集落座談会を開催し、昨年作成した土地利用図により農地利用を推進した。さらに座談会(13地区)において耕作放棄地対策を推進した。



耕作放棄地対策講習会

(3) 耕作放棄地解消対策研修会の開催

導入推進している「南瓜」の栽培講習会(6/21、8/17、11/1)、耕作放棄地新規導入品目栽培講習会(2/27)を開催し、耕作放棄地の解消や荒廃防止を進めた。

(4) 耕作放棄地再生技術の実証・展示

耕作放棄地再生技術の実証展示ほを設置し、未利用農地の荒廃防止及び再生利用に必要な被覆作物利用技術の確立・普及を図った。

- ① 緑肥作物を利用した荒廃農地再生技術の実証
 - ヘアリーベッチの緑肥効果
 - ヘアリーベッチによる土壌改良
- ② 果樹園の被覆作物利用技術実証
 - ナギナタガヤを利用したキウイフルーツの草生栽培
 - ナギナタガヤを利用したクリ草生栽培技術



景観形成作物で再生した国営農地

(5) 耕作放棄地再生事例集の作成

「荒廃農地の解消に向けて」を500部作成し、今後荒廃農地対策資料として使用する。